

## 令和6年度 第1回管理運営部会 研修レポート

記載者：介護老人保健施設 寿光園  
小松 伸太郎

日 時：令和6年12月6日（金）13：00～16：45  
場 所：山口県セミナーパーク 講堂  
参加者：32施設 51名

### 【内 容】

#### ①行政説明 13：10～13：40

『運営指導結果における留意点等について』

山口県健康福祉部 長寿社会課 介護保険班  
主任 西村清和 氏



運営指導の法的根拠、令和5年度運営指導結果から、老健だけだと内容が少ないので、他の施設系の指導結果も合わせて説明。主な指摘事項として、設備・運営に関する事項（重要事項説明書・運営規程に関すること、勤務体制、非常災害対策、衛生管理等、掲示、秘密保持等、事故発生時の対応）、介護給付費の算定に関する事項（介護職員処遇改善加算等）令和6年度介護保険施設等重点指導事項（利用者支援及び入所者処遇の充実、防火安全対策の徹底、非常災害対策の徹底、衛生管理及び感染症等の予防対策の徹底、防犯対策の徹底、適正な介護報酬の請求、各種住宅併設型の介護サービス事業者における適正な人員配置、報酬請求の徹底）、令和6年度介護報酬改定について説明あり。

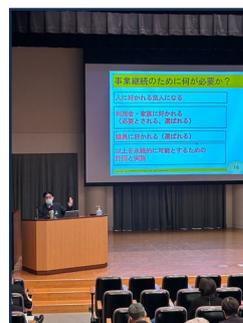
#### ②特別講演 13：45～16：15

『利用者・職員から選ばれる法人・事業所になるために』

天晴れ介護サービス総合教育研究所 代表取締役 榎原宏昌 氏

以下の柱でご講演いただいた。

- ・令和6年度介護報酬改定を受けて
- ・事業継続に必要なものとは？
- ・介護と介護事業を守り、よくする！ということ
- ・皆さんから頂いた質問
- ・新年、来年度に向けて～課題 TOP5～
- ・意見交換、発表、質疑応答



介護報酬改定の視点、様々な変化への対応と変化にどう向き合うか、事業継続のために何が

必要か、事業経営と事業所運営のマネジメントについての講義。

事前に受け付けていた各事業所から、稼働率、人材確保、人材育成に対して、自施設の特徴・魅力の示し方、広報活動について回答とされた。また、より具体的な質問に対しては、具体的回答が頂け、質問された施設にとってはいい機会となったのではないかと思う。

加算関係の取組についても、質問に対しての回答を具体的で熱を帯びた提示があり、これらを含む講義自体の時間が押してしまった。内容が濃く、ご説明に時間が少なくなった分、後半は端折っていかざるを得なくなってしまい、ご講演をお願いする際の時間確保の難しさを痛感した。次回以降、実施時間を含め検討をしたい。

また、グループワークを2回（1回目は自己紹介程度、2回目は講義内容に対して自施設での悩み等をワークとした）挟み、最後に3グループ発表を行い、講評をもって終了した。



グループワークの様子



グループワーク後の発表

③全老健共済会 PR 16:20～16:45

- ・老健福利厚生会発足について
- ・総合保障制度
- ・薬剤共同購入

前田事務局長から全老健共済会についてのお話が続いて、上記3点の説明があった後、漆間事業部長のお話で終了した。

以上